

「今」から事業承継と向き合って 会社と地域の未来を守ろう！

会社の歴史を次の世代に引き継ぐ「事業承継」は、経営者だけでなく地域全体にとって大切な課題です。市では、専門機関と連携したサポートを行っています。
この機会に事業承継に向き合い、会社と地域の未来を守る一歩を一緒に踏み出しましょう！

問い合わせ 産業支援センター (☎35-0930)

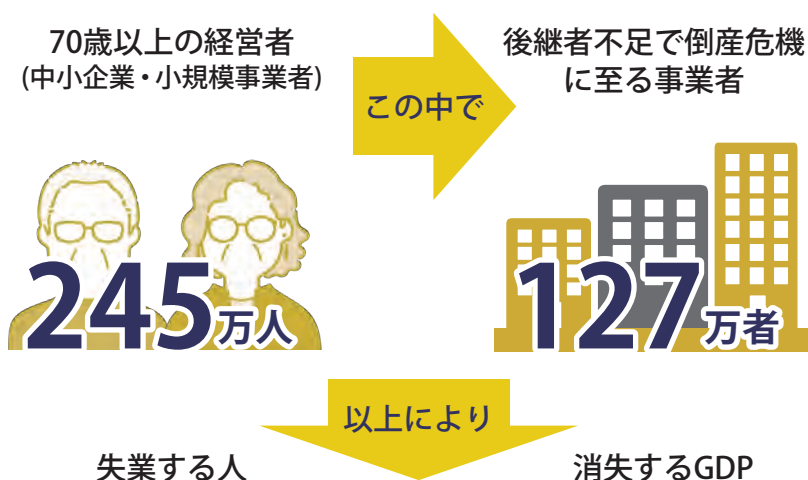


■事業承継の「2025年問題」

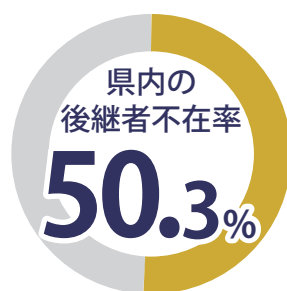
●「後継者不足」の影響

「2025年問題」は、団塊の世代が75歳以上となり、超高齢社会を迎えることで生じるさまざまな問題のことです。その中で事業承継問題では、2025年頃をピークに、中小企業・小規模事業者の経営者の多くが平均引退年齢の70歳を超え、その半数以上が、後継者不在による廃業・倒産の危機に直面するであろうと予測されています。これにより、働き先を失う人が増えたり、地域経済の活力が低下したりするおそれがあります。事業承継は、企業だけでなく地域の未来を守るためにも、非常に重要な課題です。

●「2025年までに…」と予想されている数字



●静岡県内の現状は？



株式会社帝国データバンクの令和6年調査によると、県内の後継者不在率は4年連続で改善しているものの50.3%とおおよそ半数の事業者が後継者不在となっています。



出典：中小企業庁「事業引継ぎガイドライン」改定検討会(第1回)資料

■市での対策～産業支援センターの開設～

本市でも事業承継が喫緊の課題であることから、昨年3月に「産業支援センターEnGAWA」を開設しました。産業支援センターでは経営相談をはじめ、セミナーなどを実施し、事業承継に係る課題解決や創業、経営基盤強化、ビジネスマッチングの促進など地域に根差した経営者サポートを行っています。
施設の詳細は、センターホームページ(右記)をご覧ください。



問い合わせ

市職員および連携支援機関(島田掛川信用金庫)相談員が対応します。

※相談に係る施設利用は無料です。

相談時間：平日 午前9時～午後5時 ※年末年始を除く

＼公式SNSで最新情報を発信中／



▲LINE



▲Instagram

